

研修の概要

① 研修期間は2年間です。厚生労働省の示す研修プログラムを基本とし総合的臨床能力に優れた医師の育成を目的として、指導医の指示のもとで充実した研修を行います。

② 研修ローテイト例は、下図の通り、必修科目を1年目に内科24週間、救急・麻酔科12週間、外科4週間、2年目に小児科、産婦人科、精神科、地域医療を各4週間行います。それ以外の期間は選択科目の研修となります。なお、小児科、産婦人科、精神科は下記の協力型病院、協力施設にて行います。また選択科目期間中に下記の協力型病院、協力施設での研修も可能です。

【協力型臨床研修病院】 福岡和白病院、新小文字病院、福岡新水巻病院、新行橋病院、新久喜総合病院、肥前精神医療センター、前田病院、西田病院、佐賀大学医学部附属病院、久留米大学病院
【臨床研修協力施設】 そらレディースクリニック、道の家訪問看護ステーション、下関リハビリテーション病院、堤病院、なごみといやしのクリニック

③ 48週間の選択科目の期間があります。研修医の希望に合わせ3年目以降の進路も視野にいた研修ができる病院です。2年間の研修終了後、希望者には新専門医制度に沿った専門研修を受けることができるよう、各関係施設と連携を図り、専門研修プログラムの申請を行っています。また、それ以降スタッフとしての登用も有ります。

【臨床研修プログラム】

	1 週～ 4 週	5 週～ 8 週	9 週～ 12 週	13 週～ 16 週	17 週～ 20 週	21 週～ 24 週	25 週～ 28 週	29 週～ 32 週	33 週～ 36 週	37 週～ 40 週	41 週～ 44 週	45 週～ 48 週	49 週～ 52 週
1 年次	内科 24 週						救急科・麻酔科 12 週 (うち麻酔は4週まで)		外科 4 週	選択科目 12 週			
2 年次	小児科 4 週	産婦人科 4 週	精神科 4 週	地域医療 4 週	選択科目 36 週								

※48週間の選択科目は本人の希望により下記の診療科目から選択できます。

※3年目以降より専門的な研修ができるとともに後輩の指導をして頂きます。

内科・循環器内科・消化器内科・呼吸器内科・外科・整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・呼吸器外科・形成外科・泌尿器科・麻酔科・救急科・産婦人科・精神科・放射線・眼科・地域医療

研修・教育指導の特色

1 年間救急車搬入約2,000件の搬入実績があり、年間を通じた救急患者の対応を経験します。熱心な指導医のもと救急車や総合診療での初期対応の経験を積む事で実践力を身に付けることができます。



2 佐賀県南西部地区の地域の中核病院で、近隣の医療機関から豊富な症例が集まります。自身の意欲と理解度に応じた様々な手技を経験する事で、確かな知識と技術を身に付けることができます。



3 優しく手厚い熱心な指導医が多く、医局がひとつで他科との壁が存在せず気軽に相談することができます。研修医カンファレンスでフィードバックを受け、研修医講義では実践的な講義を受けます。



4 医療スタッフのチームワークは抜群に良く、アットホームな環境で雰囲気が良いです。研修医・指導医の数も丁度良く、初期臨床研修を終えた医師の半数程度が3年目以降も残りたいと思ってもらえる病院です。



5 外科系の診療科から研修開始することで、医師の仕事のリズムを掴み病院のシステムに慣れていきます。自身の希望に沿った柔軟な研修プログラムで九州や関東の関連病院での研修が可能。



6 関連病院合同学術研究発表会が年2回実施されています。学会発表についても積極的に佐賀救急医学会にも研修医が参加発表をしています。症例発表や論文発表も指導医が丁寧に指導します。



※研修の概要、臨床研修のプログラムの内容については変更になる場合があります。

研修医の声 (抜粋)

令和2年 初期臨床研修医



矢野 智子 (R2 大阪医科大学卒)

常勤・非常勤問わず、指導医の先生が優しく指導してくれます。プライマリケアのできる幅広い技術の習得はもちろん、救急対応や外来も積極的に経験ができます。自身が経験する事で、自信にも繋がっていますので3年目を迎えたときに環境が変わっても対応できる自信や度胸も身に付きます。



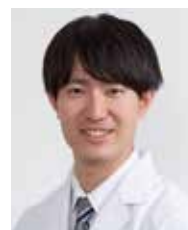
園田 健二 (H30 福岡大学卒)

勉強会や症例発表会も多く学術的にも学ぶことが多いです。福利厚生や待遇が良く、研修会や学会出張等の費用も病院が負担してくれました。研修医専用の研修医室も完備され、手が空いた時間には自己学習できる等、程よい忙しさと有意義な時間を病院内で過ごすことができます。



内村 健一郎 (R2 久留米大学卒)

医局がひとつにまとまっており、雰囲気良く他科との壁もないため、コンサルトしやすいです。優しい指導医や年齢の近い専修医もいて、研修しやすい環境です。そのような環境の中で基本的な手技はもちろん、他では経験できないような検査や手技が積極的に経験できます。



元村 晃大 (R2 佐賀大学卒)

急性期から回復期、在宅までの流れを指導医と共に診ていきます。急性期と回復期が併設している病院での初期臨床研修は、自身が目指す医師像に合致しており、将来必ず役に立つと思います。また、当医院は地域の中核病院なので、重傷から軽傷まで幅広く豊富な症例が集まっています。



後期研修

当グループでは、後期臨床研修にも積極的に力を入れています。初期臨床研修を終えた研修医の約半数が後期臨床研修医として、充実した研修を行っています。当院では、以下の基幹施設と連携を組み、新専門医制度にもしっかり対応しています。

内 科	九州大学病院
外 科	社会医療法人財団池友会 福岡和白病院、九州大学病院
脳神経外科	社会医療法人財団池友会 福岡和白病院、佐賀大学医学部附属病院
救 急 科	佐賀大学医学部附属病院
整 形 外 科	高知大学医学部附属病院、福岡大学病院

※その他の診療科も、関連病院を含めた期間施設との連携があります。詳しくは、担当者へお問い合わせください。

令和3年 初期臨床研修医



中富 義弘 (R3 東海大学卒)

まだ新しい病院で、最新の設備が整っています。職員寮も敷地内にあり部屋も広くとても快適です。2022年に九州新幹線・武雄温泉駅が開通予定で病院の周りにも新しいお店が続々と出店しており、生活用品も病院から徒歩圏内ですべて揃えられるので不自由なく生活できています。



西野 将史 (R3 杏林大学卒)

研修医がいる関連病院が多数あり、興味のある診療科を選択し研修ができるので、研修医時代から特色の異なる様々な病院を経験できるところや他院の研修医と自分を比べることもできるので気に入っています。年次中も変更可能な柔軟性の高いプログラムで将来を見据えた研修ができています。



永松 寛基 (R3 大分大学卒)

研修医主体でファーストタッチからすべて関わる事ができます。総合診療科では、指導医や先輩研修医の指導のもと、実際に外来患者様の診療を数多く経験できますが、温厚な方が多いほのぼのとした地区で安心して患者と接することができるので、楽しく充実した日々を過ごしています。



佐々木 大貴 (R3 九州大学卒)

小規模ならではの顔や名前のわかる職員が多く病棟の雰囲気もとにかく良いので、とても働きやすいです。アットホームで皆さん優しく同世代の職員もたくさんいるので職員同士仲良く活気があって楽しく研修できています。オン・オフもはっきりしていてとても居心地がよいです。

